

羅針盤

介護福祉士

らしんばん



No.94
 2025年3月発行
 一般社団法人岡山県介護福祉士会
 〒700-0807
 岡山市北区南方2丁目13-1
 岡山県総合福祉・ボランティア・
 NPO会館「きらめきプラザ」7階
 TEL: 086-222-3125
 URL: <https://www.okayama-kaigo.jp>
 印刷編集協力: 友野印刷



えがお



先日施設横の公園をお借りして、自治会とともにクリスマス前のクリスマスパーティーを開催しました！プレゼント大抽選会では1万円分のお菓子をプレゼントし、「持てない」と笑いながら大きな箱を抱えて帰られ、時間をかけて準備し、無事終わることができて良かったと思っています。

特別養護老人ホーム四季の里 松井 皇彦

第9回 おかやま介護グランプリ2024 開催

学生の部

競技の
様子



デモンストレーション



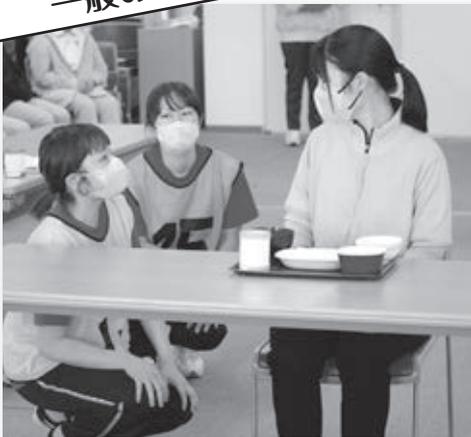
開催日：2024年11月8日（金）
会場：きらめきプラザ

「第9回おかやま介護グランプリ2024本選」を開催いたしました。予選参加チームは一般部門16チーム、学生部門7チームあり、動画による予選を

勝ち抜いた各部門の上位5チームによって介護技術が競われました。

選手の競技では、素晴らしい介護技術を見せていただき、ご来場いただいた皆様と共に介護の魅力を再発見することができました。受賞チームの競技や当日の様子は、会のWEBサイトで動画配信する予定です。

一般の部



見学者アンケートより

- 学生部門では、帰りたいと言う利用者さんへの対応がとても興味深かった。気持ちに寄り添う大切さを感じた。一般部門では、食事を食べていないと言われる利用者さんへの対応が勉強になった。どちらも実際にありそうな場面で利用者さんによりそうためには考え続けなければいけないと思った。
- 一般部門は、実際の現場でも見られる場面もあり想像しやすいと思った。
- 身体介護よりも認知症への対応がメインで、今現在の介護の在り方にマッチした内容だったと思います。声かけに正確な正解はないので色々工夫することが大事だと感じました。

◆ 受賞チーム ◆



優勝
(学生部門)

川崎医療短期大学 チーム コム

緊張しましたが一生懸命練習して声をかけあったり介助したりしました。就職しても利用者の方の思いを大事にして頑張っていきたいと思えます。



優勝
(一般部門)

チーム ももの里

緊張しましたが練習を通して初心に帰ることの大切さを改めて感じました。職場に帰ってからも笑顔を大切に頑張っていこうと思います。



審査員
特別賞

チーム ユニコーン

特別賞をいただけると思っていなかったのが驚きました。指導して下さった先生をはじめ職場でサポートして下さった職員、ありがとうございました。学んできた技術を職場に戻って活かしていきたいと思います。



会のWEBサイトに受賞チームの競技、当日の様子を動画でアップします。ぜひご覧ください。

大会実行委員会



出場チーム紹介

(競技順)

学生部門

川崎医療短期大学
チーム なっぼ



川崎医療短期大学
チーム コム



川崎医療短期大学
チーム ゆきみみか



川崎医療短期大学
チーム 秋葵



川崎医療短期大学
チーム 妖精



出場者の声 (学生部門)

- ・こんなに大勢の人たちに見てもらえないので緊張しましたが、精一杯頑張りました。
- ・利用者さんの家に帰りたいという気持ちを受容し本人の頑張っているリハビリも会話に取り入れて意欲的になってもらうよう意識しました。
- ・利用者さんの安全面や難聴があることからゆっくりお一きな声で関わることを意識しました。

一般部門

チーム ももの里
(地域密着型特別養護老人ホーム新宅)



チーム ユニコーン
(特別養護老人ホームいすみ山荘)



ザ・ポジティブ
(特別養護老人ホームいすみ山荘)



チーム 旭川敬老園アサガオ
(特別養護老人ホーム旭川敬老園)



社会福祉法人深山会 チーム こあさ
(特別養護老人ホームいこい荘)



出場者の声 (一般部門)

- ・いつもとは違う雰囲気でご介護したため緊張しましたが、残存機能の維持を意識して取り組みました。
- ・認知症の方の中には食べたのに「食べていない」と言われる方がいる中で、本人の思いを尊重しながらも糖尿病などの病気もあることから、本人の気持ちを傷つけないように対応することを意識しました。
- ・日々業務に追われている中で初心に帰ることができた。練習するにあたって職員同士でケアについて改めて考える良い機会になった。



インタビュー Interview!!

川崎医療短期大学

医療介護福祉学科3年 光畑さん



今回は介護グランプリに高校生と短期大学生時代の2度にわたり出場された光畑さんにインタビューを行いました。興味を持つ方へのメッセージ、介護を学ぶ学生の声をお届けします。

介護に興味を持ったきっかけ

高校生のとき、福祉科のある学校に通っていました。中学では理学療法士を目指していましたが、高校の授業で介護について学ぶうちに、人と関わる楽しさや達成感を感じました。特に、利用者さんにどのようなアプローチをすれば安心・安全に行動できるかを考えることが面白く、成功したときの喜びがありました。そこから介護に興味を持つようになりました。

川崎医療短期大学でどんなことを学びましたか？

本校は『医療介護福祉学科』で医療に強い介護福祉士を育てるために1年生の頃から疾患や体のしくみを学びます。2年生では、体や筋肉の動かし方をリハビリテーション論、医療的ケアを学びます。特に、医療的ケアは、他の学校と違い、人体模型だけでなく、実際の患者様に対して実施させていただくことができます。3年生の前期に病院実習があり、5種類の医療的ケアの研修を行います。規定回数の研修を経て、資格を取得できる仕組みが整っています。本校は、卒業と同時に患者様に対して医療的ケアを行うことができるのが強みだと思います。また、認定介護福祉士研修の一部科目があるので、介護福祉士の資格を取得すると同時に認定介護福祉士を目指すきっかけにもなります。働き始めてから新たに資格を取得するのは大変と聞くので、学生のうちから認定介護福祉士に必要な知識を学ぶことができるのも魅力の一つです。本校は、他の学校以上にたくさんの医療と介護の専門的知識を学ぶことができます。さらに、先生方も介護福祉士資格だけでなく医師、看護師、リハビリテーション職、臨床心理士の先生から講義を受けることができるので教科書だけの知識ではない現場の声も聞くことができます。

実習で介護の現場を経験してどんなことを学びましたか？

学校の授業で基本を習い、実習では患者様に合わせた介助方法やお互いに負担の少ない介助をされていたので勉強になりました。認知症の方への食事介助の場面で、目の前の物が食べ物かどうか認識できず、声掛けしても口を開けられなかったり他の音に気が散って食べられなかったりしていました。そんな中、患者様にどのように接したら安心・安全に食べられるのかを学びました。教科書では学べないようなことを学ぶことができ、どのようにアプローチしたら患者様が食べやすくなるのか考えるきっかけになりました。学校や実習で基本や応用を学ぶことができたので今後、介助に不安があっても、学校や実習で学んだことを活かしていけたらと思います。

介護に興味を持つ中高生にひとこと

介護は注目されにくい仕事ですが、その分やりがいがあります。笑顔が好きだったり、人のために何かをしたいと思ったりする人は、ぜひ介護の仕事をおすすめします。

2024年度 外国人介護人材のための介護福祉士国家資格取得支援講座



一般社団法人岡山県介護福祉士会実施
令和6年度
外国人介護人材のための介護福祉士国家資格取得支援講座
令和6年9月26日～令和6年12月19日

今年度は、9月から5日間、介護福祉士の国家試験を目指す外国人14名で模試問題、解説、学習者同士の交流の場として講座を開催しました。スタートは「社会の理解」の難しさで不安な時間となることもありましたが、一日ずつ横のつながりができ、グループワークで笑い声がどんどん多くなり、4人の講師とも同志のような雰囲気が出てきました。2025年3月、受験者全員の合格を心から応援しています(^^♪ 学び多い時間をありがとうございました!(^^)!

(倉敷地区：広報・三宅)

第31回全国大会・第22回日本介護学会に参加して

11月15、16日の2日間、島根県松江市にて開催されました。

初日は、開会式、行政説明後、エスポアール出雲クリニック院長高橋幸男氏の基調講演「認知症の人の思いを大切にしたいケアと介護現場における生産性向上」でした。『質の高いケアの実践は職員のやりがい・生きがいとなり、職場の価値を高めることになる。利用者も介護福祉士等も心豊かになる。充実感を持って仕事ができることは自らの成長を促す』と結ばれた言葉が心に残りました。

シンポジウムは3人のシンポジストの一人である車椅子インフルエンサー中嶋涼子氏の講演。今日までの生き様。突然の障害にも負けず一歩踏みだし世界に飛び出したパワーに感動しました。

2日目は分科会があり、①生産性向上②認知症ケア③その他（地域共生社会、地域包括等）3つに分かれ発表がありました。③を聴講し、起きているだけにならないような取り組み。コミュニケーション能力を活かした活動。介護福祉士の専門性を主張できる力の必要性。疼痛に関する気圧と痛みについて等の研究発表。大変参考になりました。

初め全国大会に参加して出逢いもありました。参加した仲間と美味しい物を食べ、お店を巡ったことも大切な思い出です。懇親会は本場の安来節。来年開催予定三重県の、おもしろアピール。バンド、歌等で盛り上がりました。

出逢いや発見を求めて一緒に三重県大会に参加しませんか!?



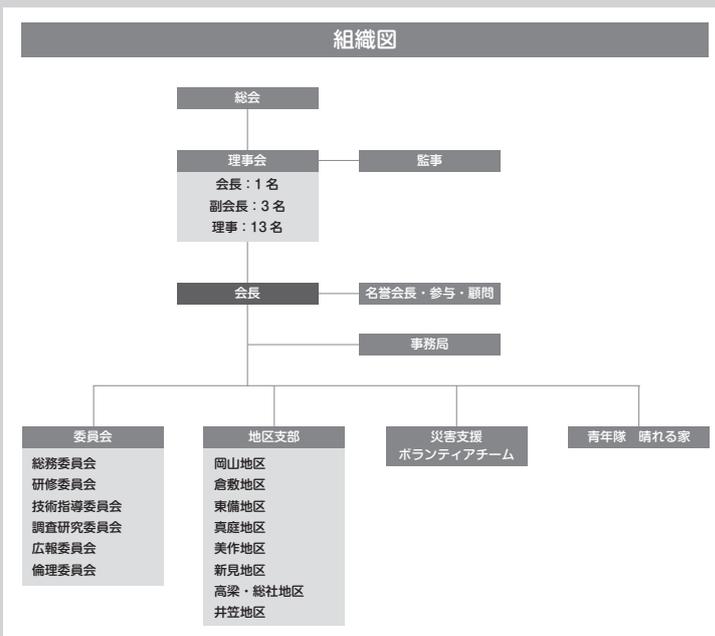


委員会紹介



正副委員長会

正副委員長会は上の組織図のように、会長1名（安達）、副会長3名（齋藤、加納、瀧川）、6委員会（総務、研修、技術指導、調査研究、広報、倫理）の委員長とで構成されています。10月にはその年の事業の進捗状況がスムーズであるかの検討をし、次年度の事業計画と事業内容の検討を始め11月には詰めていきます。12月の総務委員会で再度検討をし、了承が得られれば3月の理事会に提案、承認が得られれば5月の総会にて社員さんに報告、承認を得られれば新しい年度の事業の開始となります。



職能団体としての正副委員長は、会員の拡大はもとより会員さんの専門性を磨くべく、知識と技術の向上を目的に会員さんからの知恵を頂きながら事業の展開を考えています。

◆会員の皆さんへ

介護福祉士の専門性を語れる介護福祉士でありましょう。

専門性を追求するためには、倫理綱領を遵守し介護福祉士としての自覚と責任が大切です。この大切さを伝達していきましょう。

総務委員会

◆総務委員会ってどんな委員会？

正副会長・委員長に加え、各地区から選出された地区部長などが集まって、総務にかかわる事項の企画・立案・実行等、岡山県介護福祉士会の安定的かつ円滑な会務運営に関わる業務を所管し、組織の在り方の検討及び充実に図ります。

◆委員会の主な活動内容

委員会の開催（年4回程度）

◆会員の皆さんへ

委員会として、魅力ある介護福祉士会へと発展できるよう寄与していくことは言うまでもありませんが、一人ひとりの会員の皆様の声も受け止めたいと考えています。各地区でご意見などあればぜひ伝えて欲しいと思います。

紹介します！

地区活動



地区研修

岡山地区

地区活動

岡山地区は10月に晴れる家と合同でBBQ懇親会を開催しました。また、2月には福祉ネイル講座を開催しました。来年度も会員・非会員の方問わず多くの方が楽しめる企画をしていきたいと思っております。よろしくお祈りいたします。またこれらの活動を一緒に企画する地区役員も募集しています。ご興味のある方は岡山県介護福祉士会事務局までお問い合わせください。



▲
BBQの様子は
こちら



(岡山地区：広報・森岡)

倉敷地区

地区活動

倉敷地区主催座談会を2024年11月30日(土)に開催しました。10名の参加があり、「わかるわかる!」を共有できる有意義な時間となりました。日頃の悩みだけでなく今回はプライベートの時間をどう楽しんでいるか、好きなアーティストのライブや劇団鑑賞の話は笑いがいっぱいでした。さらに、今回は様々な事業所の方の参加があったため、事業所の理念や実際の業務内容を聞くことで生活の考え方、ケアのあり方、自立支援とは何かなど、視野が広がる時間となりました。働く環境や事業所によって、利用者様への言葉かけ、支援方法などより考える介護福祉士の役割の深さを感じました。来年度は、2回の研修を考えています。一人でも多くの会員や多職種とつながる機会になることを願っています。

(倉敷地区：広報・三宅)



新見地区

地区活動

2024年12月19日に地区活動として「介護入門教室」を、新見市内の『ひとり暮らし老人等共同生活住居・桜田荘』にて行いました。

『ひとり暮らし老人等共同生活住居・桜田荘』とは、新見市大佐地区に自立している独居の高齢者が複数人で生活している施設です。場所は刑部(おさかべ)小学校に隣接し、児童のにぎやかな声も近くで聞こえ、時には一緒に田植えや稲刈り行事等に参加することもあります。

今回は、認知症カフェの一環としてこの「介護入門教室」を企画しました。受講者は、地域に暮らしている10名で、介護者としてご夫婦で参加下さる方もいらっしゃいました。

講師の紹介で、聞いたことのある施設の職員であると理解されると、安心されたのか温かなまなざしで清聴下さり、和やかな雰囲気では笑いもあって、とても楽しく開催することができました。食事と排泄についての基礎的内容で、皆さん真剣に受講してくださいました。引き続き、このような機会を設け、介護介入の敷居が低く、身体が楽で手軽な介護の方法をたくさんの皆さんにも知っていただきたいと思いました。

同日・同所、新見地区役員会も開催し、これからの活動についての話し合いも行いました。具体的な内容はこれからですが、勉強会等の地区会員の皆様が参加できるような内容を検討しました。

(新見地区：広報・磯田)



井笠地区

地区活動

井笠地区では、地区活動として地域福祉のフェアへ参加し、介護ブースを出しました。また、地区内の施設でキャリア研修を行い、新人職員さんから施設長様に参加いただきました。その他、地区内の地域社会で介護教室の開催を予定しています。

(井笠地区：広報・松井)

東備地区

地区研修

2024年12月10日、和気中央公民館で開催された東備地区第1回研修会に参加しました。この日は「老いと演劇」をテーマに、認知症の方とのコミュニケーションについて学ぶワークショップが行われました。

OiBokkeShi主宰の菅原氏を講師にお迎えし、「どんなワークをしてくれるのだろう」とワクワクしながら参加しました。テーマにもある通り、座学は短時間でさらっと済ませて、さっそく体を動かすワークからスタート。アイスブレイクを兼ねた内容で、参加者同士が協力し合いながら行うものでした。徐々に条件が増えていく中、みんなで楽しみながら進めるのがとても面白く、私自身も夢中になりました。

今回のワークショップは終始和やかで笑いが絶えず、非常に充実した時間となりました。また、他地区から参加して下さる方もあり、地域を超えた交流が生まれることもまた素晴らしいと感じました。

また、このような演習を自事業所でも行うことで、日々のケアの振り返りや深い学びにつながるのではないかと話も雑談の中で出ました。実現できればとても良い取り組みになりそうです。

今回の研修を通して、認知症の方との「いまここ」を楽しむ姿勢や、寄り添い方について多くの気づきを得ることができました。この学びを日々のケアに活かしていきたいと思いません。

(東備地区：広報・城島)

東備地区第1回研修会レポート

日時：2024年12月10日(火) 14:00~16:00

場所：和気中央公民館

テーマ：老いと演劇のワークショップ～認知症の人と“いまここ”を楽しむ～

講師：「老いと演劇」OiBokkeShi 主宰 菅原直樹氏

参加人数：12名



美作地区

地区研修

美作地区では、昨年に引き続き今年も菅原直樹先生による研修『介護の魅力発信 第2弾～みんなでケア～』を企画しています。…と言っても研修は2月22日、このらしんばんが発行されるのは2月後半から3月上旬にかけて…。原稿を書いているのが年末なので、参加の案内ではなく、「参加された方、感想はどうでした？」と少し心配しながら書いています。前回は会議室での開催でしたが、今回の会場は「ギャラリーinoue」、リフォーム業をされているオーナーさんが、趣味である油絵の展示とモデルルームを兼ねて作られた建物です。そのため参加定員は少ないですが、家庭的な雰囲気の中での認知症研修、しかも講師は演劇の菅原先生！不安はあっても「絶対おもしろい研修になる！」と信じて準備中です。

研修に参加された方、どうだったでしょうか？研修に参加していなくても、この記事を読んで気になった方々、美作地区にパワーをください。来年度もがんばりますので、よろしくお願いします。

(美作地区：広報・福田)

高梁・総社地区

地区研修

◆2024年10月11日、総社市昭和公民館にて令和6年度第1回地区研修会を、ENテクノサービス藤井直人氏を講師に迎え「座学と実技を交えたポジショニング技術」と題して開催しました。

一般、会員、役員含め16名の参加がありました。まずは座学を受け、ポジショニングについての考え方や取り組む姿勢を学び、その後実技として体位変換やポジショニングを実際に受けた際の「苦になる姿勢と楽になる姿勢」を体験しました。非常に内容が濃く、実際の現場でも直ぐに取り入れる事が出来る内容で、1時間半という時間がとても短く感じました。研修後のアンケートでも「ポジショニングをもっと深く学びたい」「自分の施設でも実施して欲しい」などの意見がありました。この研修を受けたことで、また1歩参加者の介護技術が進んだのではないかと思います。

◆2024年9月18日より全8回にわたる介護入門的研修総社会場において、多くの講義を高梁総社地区役員が担当しました。全く介護へ携わったことがない方や、家族への介護経験はあるものの、介護の現場へは関わったことがない方などが参加されており、「介護とは何か」「認知症への理解」「介護技術について」「障害福祉とは何か」等について講義を行いました。参加された皆さんは真剣に取り組まれ、時には講師もタジタジになるような鋭い質問が飛んでいました。講師として参加した役員も、今一度初心に戻る事が出来たと思います。

講義を受けた方々が少しでも介護に興味を持ち、いつか「共に」介護へ携わる日が来るといいなあ、と思います。

(高梁・総社地区：広報・染谷)

真庭地区

地区活動

2024年12月4日 美作大学にて介護福祉士会入会説明会を行いました。

将来、介護福祉士を目指す学生さんに対し、介護福祉士の活動内容や入会のメリットなどについて説明を行いました。まだ介護について勉強中の学生さん達には少し難しい部分もあったかと思いますが、しかし、参加者全員が真剣に耳を傾け、理解を深めようとする姿勢が見られました。これから介護の担い手となる学生さんに、介護福祉士の役割や意義について理解を深めてもらう良い機会になったと感じています。今後もこのような取り組みを継続し、学生さん達との交流の場がもてたら良いと思います。



2024年12月13日 真庭地区一般研修「介護現場におけるジレンマについて」を開催しました。

(講師：介護老人保健施設ゆうあい 菅原 摂子氏)

介護現場におけるジレンマについて研修を行いました。研修では、介護現場におけるジレンマについてグループワークを行い、体験したジレンマについて話し合いをして体験談を共有することで色々な意見を聞くことができました。利用者様の気持ちになって考えて改善していくことなど、介護感についても見直すことができました。また、日頃から現場で思っているケアをしたいことや思っていること言えないこともあったので、他施設の方と介護感についても意見交換ができてよかったです。今後ともこのような繋がりや意見交換できる場を作っていけたらと思います。



(真庭地区：広報・古山)

がんばっています

青年

隊

「晴れる家」隊員



活動報告

2024年10月20日、岡山地区と合同でバーベキュー懇親会を行いました。NGワードゲームでは参加者がNGワードの書かれたカードを頭に付けて、自己紹介を行いました。NGワードを口に出したらアウトです。自分はNGワードを言わずに、いかに他の人からNGワードを引き出せるかがポイントです。うまく誘導しNGワードを引き出せた時は思わず「アウト」と声が上がっていました。また質問が直球過ぎてNGワードが分かっちゃったり、終始ニヤニヤしながら会話を楽しみました。またそのまま介護の話に移行して、様々な意見交換が行われ有意義な時間を過ごしました。



2025年2月28日には、元晴れる家のメンバーの名古屋医療秘書福祉&IT専門学校講師の井手野日南氏を招いて研修を行いました。詳細は会HPIに掲載していますので、ご覧ください。

*以前チラシを配布した「介護出張サポートサービス」ですが、応募がありませんでした。ご希望のある施設、事業所の方はご連絡ください。

✉ 県介護福祉士会からのお知らせ

◇会員登録について

年度末が近づいてきました。住所、職場の変更はございませんか？登録内容について変更がございましたら、日本介護福祉士会HPからの変更手続き、または変更届のご提出をお願いいたします。

また、退会につきましても同様に、必ずその年度中（3月31日まで）に退会届をご提出ください。お仕事を退職されただけでは退会とはなりませんのでご注意ください。様式は、ホームページから印刷することができます。または、事務局へご連絡いただければ送付いたします。



◇次年度（2025年度）の研修について

現在、次年度に向けて研修の計画を立てております。

2025年度の研修スケジュールと開催要綱を、WEBサイトに準備が出来次第アップいたします。ぜひご覧ください。皆様の研修へのご参加をお待ちしております。

2024年度賛助会員の皆様

（敬称略、順不同）

医療法人社団新風会 玉島中央病院	社会福祉法人旭川荘 特別養護老人ホーム旭川敬老園
学校法人旭川荘 旭川荘厚生専門学院	社会福祉法人岡山中央福祉会
学校法人穴吹学園 穴吹国際みらい専門学校	社会福祉法人恵風会 特別養護老人ホーム恵風荘
学校法人川崎学園 川崎医療短期大学	社会福祉法人光優会
学校法人ベル学園 岡山医療福祉専門学校	社会福祉法人天神会 こうのしま介護老人保健施設
学校法人美作学園	社会福祉法人優風会
株式会社創心會	東洋羽毛中四国販売株式会社岡山営業所
株式会社ハートスイッチ	森脇法律事務所
株式会社リスコ	

ご支援ありがとうございます

2025年度岡山県介護福祉士会
賛助会員募集

当会の趣旨、目的に賛同頂ける岡山県介護福祉士会賛助会員を募集しております。詳細につきましては、事務局までお問い合わせください。資料を送付させていただきます。岡山県介護福祉士会事務局 TEL：086-222-3125

みんなの広場

ほっとステーション



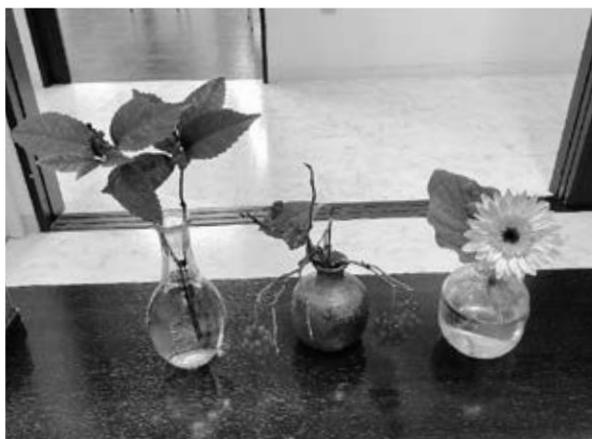
季節は冬に移り変わっていますが、朝夕と日中の気温差に体調が安定しづらく四苦八苦している今日この頃です。そんな中、事業所にはご利用様が持参してくださる花たちで溢れています。日々、ご自宅で育てられている花を持参してくださる方々の表情はとても明るく、それを見た他のご利用様やスタッフの表情もつられて明るくなっているのを感じると嬉しく思います。

花に興味があるのは女性ご利用様だけでなく普段は寡黙な男性ご利用様も前のめりになって話をされる姿がとても印象的です。「この花はなんという名前なのか?」、「昔、自宅にも植えていた。育て方が難しかったのを覚えている」などピアグループの構築にもなっているようです。

そういった話についていくことができるよう、写真を撮ることで花の名前が分かるアプリをすぐにインストールしたことを今でも覚えています。また、私自身も水切りや生け方、花の名前などご利用様の経験や知識を共有いただけることで自宅での祖母との話にも

「花」が咲きます。「あなたが小さいときは花より団子だったのに、随分変わったね」など言われ嬉しいような恥ずかしいような気持ちになります。送迎で色々なルートを通る際も、庭先に咲く花を見て車内がとても賑やかになり日々を楽しく過ごすことができます。私自身も、ご利用様やご家族様にとって明るくなれるような存在でいたいと思ったり、命を大切にできるような人になりたいと感じました。

(創心会 元気デザイン倶楽部総社 染谷 和哉)



ほっとステーションへの投稿をお待ちしています

あなたの職場の様子や利用者さんとの日々のやりとりを教えてください。同じ“介護”で働く皆さんが共有できる、そんな情報をお待ちしています。



編集担当

岡山県介護福祉士会
広報委員会

- | | |
|-------|-------|
| 森岡 剛士 | 三宅真奈美 |
| 田中 秀樹 | 内藤 佑弥 |
| 好本 啓 | 岡本 奈々 |
| 城島 義隆 | 岡田 貴弘 |
| 古山 喬成 | 福田 洋平 |
| 西本 光男 | 磯田 明枝 |
| 樋口久美子 | 染谷 和哉 |
| 松井 皇彦 | |